

平成 23 年 4 月 11 日

国際生物学オリンピック日本委員会  
委員長 浅島 誠

## 第 22 回国際生物学オリンピック日本代表決定 ～台湾で開催される国際大会で、世界の仲間と生物学を競う～

国際生物学オリンピック日本委員会(委員長:浅島 誠)は、第 22 回国際生物学オリンピック(2011 年 7 月 10 日～17 日の 8 日間、台湾・台北にて開催)に派遣する日本代表 4 名および次点者 2 名を決定しました。

日本代表および次点者は、全国 2,181 名の受験者から三次にわたる試験を経て選ばれました。今後、大学教員や専門家も交えた国際生物学オリンピック日本委員会・プロジェクトチームによる何回かの強化トレーニングを受け、7 月の国際大会に臨みます。国際大会においては、世界の各国・地域から参加する代表たちと生物学を競い、そして生物学好き同士の友情をはぐくみます。

### 第 22 回国際生物学オリンピック 日本代表(50 音順)

| 氏名    | フリガナ     | 性別 | 在学学校(所在地)         | 学年  |
|-------|----------|----|-------------------|-----|
| 大塚 祐太 | オオツカ ユウタ | 男  | 千葉県立船橋高等学校(千葉県)   | 高3年 |
| 久米 秀明 | クメ ヒデアキ  | 男  | 筑波大学附属駒場高等学校(東京都) | 高3年 |
| 松田 洋樹 | マツダ ヒロキ  | 男  | 筑波大学附属駒場高等学校(東京都) | 高3年 |
| 三上 智之 | ミカミ トモユキ | 男  | ラ・サール高等学校(鹿児島県)   | 高3年 |

**同 次点者(50 音順)** 参加できない日本代表がでた際に、かわって次点者が国際大会の日本代表となります。なお、次点者も日本代表と同じ強化トレーニングなどに参加します。

| 氏名    | フリガナ      | 性別 | 在学学校(所在地)         | 学年  |
|-------|-----------|----|-------------------|-----|
| 奥村 洋介 | オクムラ ヨウスケ | 男  | 和歌山県立向陽高等学校(和歌山県) | 高3年 |
| 野田 夏実 | ノダ ナツミ    | 女  | 桜蔭高等学校(東京都)       | 高2年 |

国際生物学オリンピックは、世界の高校生を対象にした生物学の国際的なコンテストです。生物学への関心を高め、参加者の才能を開花させるとともに、各国の生物学教育について情報を交換したり生物学を学ぶ若者の国際交流を促進するために毎年開催されています。1990 年の第 1 回大会(旧チェコスロバキア・オルモウツで開催)から数えて第 22 回となる 2011 年の国際大会は台湾・台北で開催されます。

## 日本代表の抱負

大塚 祐太 千葉県立船橋高等学校(千葉県)

いろいろな分野への興味を活かして、特別教育などで積極的に勉強します。良い日本チームになるようにします。国際大会を楽しんで、試験では全力を出し切って、一生の思い出にしたいです。

久米 秀明 筑波大学附属駒場高等学校(東京都)

生物学が好き・楽しい！という気持ちを忘れずに、精一杯がんばります。特別訓練では実験の練習や、試験対策にとどまらない楽しい講義を期待しています。

松田 洋樹 筑波大学附属駒場高等学校(東京都)

部活の先輩が生物学オリンピックの代表になったのを見て以来、日本代表になることに強いあこがれがあったので、今回代表に選ばれたことをうれしく思っています。日本代表として台湾に行き、各国の代表と交流することは、人生の中でも貴重な経験になると思うので、楽しみにしています。

三上 智之 ラ・サール高等学校(鹿児島県) (第21回韓国大会に続き2年連続2回目の日本代表)

再びこのような大きな舞台に立てることを大変光栄に思います。  
頂いた機会を無駄にしないよう、最大限の努力をしたいと思っています。

以上

### <問い合わせ先>

国際生物学オリンピック日本委員会

担当：山下、鳩貝

東京都千代田区北の丸公園2番1号科学技術館内

E-Mail：jbo@jsf.or.jp URL：<http://www.jbo-info.jp/>

公益財団法人 日本科学技術振興財団／科学技術館

生物学オリンピック担当：大野、谷本

TEL 03-3212-8518 FAX 03-3212-7790

## 参考資料

### ■ 日本生物学オリンピック「生物チャレンジ 2010」

国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる日本生物学オリンピック「生物チャレンジ 2010」は、20歳未満で大学入学前の青少年を対象とした、全国規模の生物学に関するコンテストです。理論問題による第一次試験、実験問題を中心とした第二次試験、国際大会レベルの理論問題が出題される代表選抜試験で構成されます。

今回の代表 4 名および次点者 2 名は、下記の通り実施された日本生物学オリンピック「生物チャレンジ 2010」で選抜されました。なお、平成 23 年度より、各試験等の名称を日本生物学オリンピック(予選、本選、代表選抜試験)と変更します。

|        | 日程・会場等  | 対象   |
|--------|---|--|
| 第一次試験  | 日程: 2010 年 7 月 18 日<br>会場: 全国 47 都道府県の 83 会場                  | 受験 2,181 名   |
| 第二次試験  | 日程: 2010 年 8 月 19 日～22 日<br>会場: 筑波大学(茨城県つくば市)<br>3 泊 4 日の合宿形式 | 第一次試験で選抜された者 および<br>2010 年の国際大会日本代表で受験<br>を希望したもの 計 78 名 |
| 代表選抜試験 | 日程: 2011 年 3 月 26 日<br>会場: 東日本大震災に対応し 各地の 3 会場                | 第二次試験までの成績で選抜され<br>た 高校2年生以下の 14 名                       |

### ■ 国際生物学オリンピック日本委員会(Japan Biology Olympiad Committee: JBO)

国際生物学オリンピック日本委員会は、日本国内において日本生物学オリンピックを開催し、国際大会に派遣する日本代表を選考するための三次にわたる試験をおこなうとともに、日本代表団を組織し国際大会へ派遣引率しています。日本生物学オリンピックでは先端的な生物学研究にふれる機会を提供するなどして、高等学校などの生徒に対し、生物学への興味の喚起と知識の普及を図りつつ、広く科学技術一般への関心の向上と理解の増進を推し進めています。日本代表生徒の国際大会への参加体験は、将来の日本の科学技術を支える人材の育成にも役立つと期待しています。さらに、教育関係者の国際的な交流を促進し、日本の生物学教育の充実・発展に寄与することも同時に目指しています。

### ■ 国際生物学オリンピック(International Biology Olympiad: IBO)について

国際生物学オリンピック(BO)は生物学に関心を持つ高校生を対象とした国際的なコンテストです。

- ・ 生物学の問題や実験に挑戦し、生物学への興味と創造性やねばりづよさを競う。
- ・ 参加する生徒の能力を伸ばし、科学者への道に導く。
- ・ 生物学を学ぶ生徒の国際的交流の機会をあたえる。
- ・ 生物学教育に関するアイデアと教材の国際的な交換を推進する。

これらを目的に 1990 年に旧チェコスロバキアのオルモウツで第 1 回大会が開催されて以来、毎年開催国を持ち回り、開催されています。

コンテストは、生物学に関する理論課題試験と実技課題試験によって競われます。それだけでなく、参加者同士の国際的交流をはかることも重要な要素とされています。国際大会は毎年 7 月に開催され、そこには各国・地域の国内選考を経て選ばれた 4 名の代表生徒と 2 名のチームリーダーが参加します。

■ 近年の国際生物学オリンピックと日本代表の成績

<第16回中国／北京大会(IBO2005)>

開催期間：2005年7月10日～17日 8日間

参加国・地域(参加者数)：50(198名)

日本代表(4名)の成績：銅メダル2

<第17回アルゼンチン／リオクアルト大会(IBO2006)>

開催期間：2006年7月9日～7月16日 8日間

参加国・地域(参加者数)：47(185名)

日本代表(4名)の成績：銅メダル3

<第18回カナダ／サスカトゥーン大会(IBO2007)>

開催期間：2007年7月15日～7月22日 8日間

参加国・地域(参加者数)：49(192名)

日本代表(4名)の成績：銀メダル1、銅メダル3

<第19回インド／ムンバイ大会(IBO2008)>

開催期間：2008年7月13日～7月20日 8日間

参加国・地域(参加者数)：55(220名)

日本代表(4名)の成績：銀メダル3、銅メダル1

<第20回日本／つくば大会(IBO2009)>

開催期間：2009年7月12日～7月19日 8日間

参加国・地域(参加者数)：56(221名)

日本代表(4名)の成績：金メダル1、銀メダル3

<第21回韓国／昌原(チャンウォン)大会(IBO2010)>

開催期間：2010年7月11日～7月18日 8日間

参加国・地域(参加者数)：58(233名)

日本代表(4名)の成績：金メダル1、銀メダル3

<第22回台湾／台北大会(IBO2011)>

開催期間：2011年7月10日～7月17日 8日間

以上